※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０６

令和５年度　教養科

教科	教養	科目	(学)教養基礎Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇日本語指導が必要な生徒を対象とした科目であり、日本語力の向上を図る。
〇各教科・科目の発展的分野及び進学や就職に関連する一般常識や教養を身につける。
〇ほとんどの生徒が日本以外にルーツがあり文化的背景を異にしている。そのため多文化共生の考え方を尊重し、多文化共生社会を実現する力を養う。
〇タブレットＰＣを活用し、課題を自己で調べ、発表し、また他者の発表を傾聴できるコミュニケーションスキルの向上を図る。また日本語会話力の向上を図る。
〇生徒の実態・進路に応じて、適宜学習内容を設定する。

２　学習の到達目標

a:高等教育機関の授業が理解できる基礎的学力を身につける。
b:高等教育機関の授業で学んだことを進路や社会生活で活用できる力を身につける。
c:自己の進路希望に応じた知識・教養を積極的に学び身につける。日本社会で社会人として生きていく上で必要な常識や態度を身につけ、また日本語力も積極的に学び向上させる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各教科（国語・数学・英語・理科・社会）に関する基礎的学力を身に付けている。 一般常識、タブレットＰＣの基本的な操作方法を身につけている。	学習したことを、進路選択及び日本社会での生活に、どのように活用できるか考えることができる。 調べ学習等で、意見をまとめて発表することができる。また正しい日本語で発表することができる。	知識や教養を身につけること及び問題や課題を解決することに意欲を持ち、実践に結びつけることができる。 プリントやメモをしっかりとることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td>1</td><td></td><td>・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題
・道路標識、マーク
・国名コードと国番号
・世界一、日本一、世界三大、日本三大
・日本の都道府県。県庁所在地</td><td rowspan="3">a：各教科（国語・数学・英語・理科・社会）に関する基礎的学力を身に付けている。一般常識、タブレットPCの基本的な操作方法を身につけている。

b：学習したことを、進路選択及び日本社会での生活に、どのように活用できるか考えることができる。調べ学習等で、意見をまとめて発表することができる。

c：知識や教養を身につけること及び問題や課題を解決することに意欲を持ち、実践に結びつけることができる。プリントやメモをしっかりとることができる。</td><td rowspan="3">定期考査　確認テスト</td><td rowspan="3">定期考査　確認テスト　日本語会話力</td><td rowspan="3">授業態度　提出物（プリント等）　制作物</td></tr>
<tr><td>2</td><td></td><td>・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題
・母国紹介
・外来語
・ことわざ、四字熟語
・単位、単位変換</td></tr>
<tr><td>3</td><td></td><td>・国語、社会、数学、理科、英語の発展的な問題
・略語（カタカナ・アルファベット）
・国際社会と貿易
・判断推理、数的推理、資料解釈、空間把握</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度